

ミタクリは開院五周年を迎えました。本当にありがとうございます。

2007年11月1日（木曜日）ミタクリ開院初日は今年と同じ木曜日、巽欣子先生の外来からスタートしました。そして、多くの方にお越しいただき感激したこと、鮮明に思い出されます。ホームページに「身近な医療相談から、高度な先進医療に至るまで、広く患者さんに利用していただけるクリニックを目ざしています。目線は、地域のかかりつけ医＝家庭医です。」と理念を掲げましたが、皆さんの「身近な」ところで、まだまだやるべきことがある、もっとやれることがある、と想いは一層拡がっています。診察室では、時に厳しいこともお話ししますが、基本はあったかいなあ、と想っていただけの診療を心がけています。毎年、この時期は「原点に返り、今を見つめる」機会になっています。今後とも、どうぞよろしくお願ひしますね。

【ニュース】

1. 診療日の変更をお知らせします

今月の休診はありません。尚、年末年始は12月29日（土曜日）から1月5日（土曜日）までお休みさせていただきます。よろしくお願ひします。

2. ミタクリ開院五周年 記念講演会

以前にも少しご紹介させていただきましたが、開院五周年記念講演会を、平成25年1月12日（土曜日）14時からウエスティ（堺市立西文化会館）で、日本で唯一のチベット医（アムチ）小川康先生をお招きし、チベット医学についてお話しいただきます。奮ってご参加くださいね。

【ミタクリ歳時記 神農祭】



大阪市中央区道修町（どしょうまち）にある少彦名（すくなひこな）神社では、11月22日と23日に「神農（しんのう）祭（例大祭）」が開催されます。大阪の一年のお祭りは、1月の十日戎で始まり、神農祭で終わるので、「とめの祭」ともいわれています。この神社は、安永9年（1780）、以前から薬種商たちが道修町の仲間会所に祀っていた神農氏（中国医薬の祖神で、百草を嘗めて効能を確かめ、医薬と農耕を諸人に教えた）とともに、京都より少彦名命（日本医薬の祖神、神皇彦霊神（かんむすびのかみ・万物生成の神）の子。国造りの協力神（大国主命）の分霊を勧請・合祀したのが始まりとされ、「神農さん」の名で親しまれています。「おおさか町歩き」をしていた時に参拝しましたが、ビルの谷間にひっそりと佇んでいて、油断をしているとつい通り過ぎてしまう感じでした。が、神農祭の両日は、道修町通にくす玉飾りや献灯提灯が建ち、露天が軒を並べ、神虎を求める参拝者で、終日にぎわっています。神農祭で有名なのは、病除けのお守り、五葉笹につけたこの神虎（張子の虎）です。文政5年（1822）に流行った疫病（コレラ）は、罹患後三日も経てば亡くなるころから「三日虎狼狸（コロリ）」と呼ばれました。この恐ろしい病に対し、疫病除けとして「鬼を裂く」といわれる虎の頭骨など10種類の和漢薬を配合した「虎頭殺鬼雄黄圓（ことうさっきょうおうえん）」という丸薬が作られました。男性は左、女性は右の肌身につけておき、急病の時には湯でのむようにとあります。つまり、病名にも丸薬にも虎の字が当てられていたので「張子の虎」が作られ、腹部に「薬」の文字が朱印され、病除け御守りとして授与されるようになったわけですね。参拝者は、巫女（みこ）が鳴らす鈴の音と「家内安全、無病息災、御利益ございますように」との言葉とともに、張子の虎がくられた五葉笹を受け取っていきます。

3. インフルエンザワクチンのこと

実施：平成24年10月22日（月）～平成25年3月末
（助成期間は、平成25年1月31日（木）まで）

当院での費用（自己負担額）は次のとおりです。

- 1) 堺市在住の65歳以上の方 もしくは 心臓、腎臓、呼吸器の機能が免疫機能に、身体障害者手帳1級程度の障害のある60～64歳の方→接種回数1回 **自己負担額 1,000円**
- 2) 13歳から64歳以下の方→接種回数1回 **自己負担額 2,500円**
- 3) 3歳から13歳未満の方→接種回数2回 **1回目、2回目ともに 2,500円**

【欣子先生の診察室だより】



秋深まり・・長びく咳に悩む方がとても多いこの頃です。マイコプラズマに百日咳、咳ぜんそく・・中には結核もあるかと神経をとがらせて診察しています。何といっても睡眠不足が大敵ですので早寝早起きの励行で免疫力をつけておきましょうね。

さて先日、ある患者さんが診察室にはいつてくるなり、言いました。「先生、あんなあ、受付の下のポスターがな、ちょっとゆがんでるねん。左下にさがって、ななめになってんねん。」いつも几帳面で、ずぼらな私の診察室のカレンダーがゆがんでいてもきちんとまっすぐ

に直してくれる人ですから、さぞかし気持ちが悪かったんでしょう。「ほんでなあ、それを（看護師の）幸山さんに言うたらな、“そう！それって右肩上がりってことやね！”って返されたんやー。ほお！ものは言いよう考えようやな！！」と感動しているのです。

次の日、別の患者さんが診察室でこんな話をされました。「先生、しかし糖尿でこんな結構な病気がないなあ！痛くもかゆくもないし、じっとしてやなあかんこともないし。ほんま結構や！！」隣で聞いていた奥さん、渋い顔をして「私はいややわ！食事に神経使うわ！」。

よく考えてみると、事実の一つなんです。ゆがんでいるポスター、糖尿病・・・でもこちらの受け取り方一つでイライラにも幸せな気分にもなるってことでしょうか？どうせ考えても変わらないものなら、また同じ時間を過ごすなら幸せな気分で過ごしたいですね。ストレスが一つ減りますよ。身の回りのイライラ、見直す機会にしたいと思いました。・・こんなふう書き進めていたある日、天王寺のプラットホームで電車を待っていると、私の前に並んでいた若い女性がヘアスプレーを頭に振りかけ始めたんです！（わたしの頭の中の独り言・・はあ？ヘアスプレー？電車の中で化粧する高校生はいても、直接迷惑かけられたことはないよ。またその粒子がこっちに来て臭いし迷惑やで！！なとなあ・・・この人普段どんな生活してるんやろ？）久しぶりにイラっとしたのです。きっと、「いややなあ」ってわかる顔をしていたと思います。さあ、この件どう受け取りましょう？うーん、いい考えが浮かびません。でも、このまま放っておくと一日不愉快な気分になりそうでした。私のそのときの解決方法は“自分ってこんなことでイライラするんや”と客観的に自分を眺めてみただけでした。まずは棚上げでしょうか（笑）。まだまだ修行が足りません。どなたか、ほお！っと思わせる考え方、教えてください。

ちなみにクリニックのポスターはそのままです。（私が気にならないから（笑））どうぞみなさんもそれを見てどう思うか試してみてくださいね！！

【外来担当医一覧 2012年11月現在】

予約電話番号：072-260-1601

診察受付時間	月	火	水	木	金	土
午前 (9:00-11:00)	巽	三谷	巽/三谷	巽	巽/三谷	三谷
午後 (14:00-16:00)	巽(予約)	巽(往診)	巽(予約)	巽(往診)	巽(予約) 三谷(往診)	
夜診 (16:30-18:30)		三谷	三谷		三谷	